



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

June 2003 No.12
 Chartered July 20, 1982

標語 YS SLOGANS (2002~2003)

クラブ会長 : 『心と思いを合わせ、共に生きる』
 国際会長 : " Growth through service " 『奉仕による成長』
 アジア会長 : " Into the bright light of selflessness " 『無私の奉仕で輝く未来へ』
 西日本区理事 : 『ペクトルを合わせ、地域と共に活動を』
 中西部長 : 『心(こころ)豊かに! ワイズ・スピリッツを燃やそう!』

クラブ役員 Officers

会長 : 松浦 孝次
 副会長 : 中村 茂高
 // : 谷川 俊一
 書記 : 山田 孝彦
 // : 富中 彬
 会計 : 三浦 直之
 外会長 : 松浦 和子
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

月間強調テーマ : 『評価・計画』

☺☺☺ 6月の聖句 ☺☺☺

【 Biblical Message of June 】

イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。そのことによって、わたしたちは愛を知りました。だから、わたしたちも兄弟のために命を捨てるべきです。世の富を持ちながら、兄弟が必要な物に事欠くのを見て同情しない者があれば、どうして神の愛がそのような者の内にとどまるでしょう。子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。

(ヨハネの手紙 - 3章16~18節)

☺☺☺ 6月の例会 ☺☺☺

【 June Club Meeting 】

○ 6月 第1例会 デファレンスディ行事
 日時: 2003年6月7日(土) 14:00~17:00
 場所: 大阪YMCA土佐堀館3階302号室

司会 栗山 佳三君

1. 開会点鐘 松浦 孝次会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 松浦 孝次会長
4. 聖句朗読 富中 彬君
5. デファレンスディとは 中村 茂高副会長
6. 講師紹介 中村 茂高副会長
7. シンポジウム

テーマ: 「子どもの権利条約とマイノリティーの子どもたち」

—ブラジルの子どもたちのサポート活動を通して
 照本 祥敬氏 (中京大学教授)

具志アンデルソン飛雄馬氏 (日本語指導員)

8. ニコニコ献金 (在日ブラジルの子どもたちのサポートへ)
9. 入会式 永島 寧氏
10. その他連絡・報告 各担当
11. 閉会点鐘 松浦 孝次会長

○ 6月 第2例会

日時: 2003年6月18日(水) 18:30~20:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9階

*6月例会当番

第2班 (栗山、富中、中村隆、鎌田)

☺☺☺ Attention Please ☺☺☺

1. ゲストの 具志アンデルソン飛雄馬氏の経歴:
 15年前来日し、三重県内の小・中・高校の日本語指導員として活躍。自身が学校でのいじめの体験をもとに、ブラジルの子どもたちの相談サポートや、市民、行政関係者、教師を対象に講演会活動を行っておられます。
2. 今月のテーマの「評価・計画」とは、今年度の活動を正しく評価し、来期の活動計画に反映させることをいいます。
3. 6月の第1例会は、右記のとおり、6月7日(土)午後、デファレンスディとして大阪土佐堀YMCA会館で開催します。第2例会は6月18日(第3水曜)です。両例会とも日が変わりますのでご注意ください。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

*6月お誕生日 Happy Birthday!

黒田メネット 26日、新保メネット 28日

【クラブ統計 Statistics】 下欄()は、うち広義会員を表わす

2003年5月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 22(1)名	メ	12()名	名	4月: 切手 481gr.	5月: 14,000円
例会出席 ()名	ン	3名	名	現金 7,000円	
うちメークアップ 名	メネット	名	名		(02年7月~03年5月の)
	ビジター	2名	名		累計: 211,600円
	ゲスト	名	名	(02年7月~03年4月の)	(除く、クリスマス献金、
出席率 %	合計	17名	名	累計: 切手 6,281 gr.	オークション、記念献金)
				現金 32,500円	

本年度の大阪 YMCA の年間聖句は、「今月の聖句」の下線をつけた言葉です。

使徒パウロはローマの信徒への手紙などで「人は信仰によって義とされる（神の前に正しい存在と認められる）」と、「信仰」を強調しました。しかし、「行い」を重んじることを力説しているヤコブの手紙などでは、例えばヤコブ2章21節に「神がわたしたちの父アブラハムを義とされたのは、息子のイサクを祭壇の上に献げるとい行いによってではなかったですか」とあります。

「信仰と行いは、どちらが重要であるか」を論争することはあまり意味のあることではなく、車の両輪のようにどちらも大切です。

けれども、YMCA のような実践を重んじる団体においては、別記の年間聖句として掲げられているように「行い」を強調することはやはり大切な言葉と言うべきでしょう。

但し、一般的に言って、聖書を読むときは、ごく一部の言葉をとりあげて生活の指針とすることは、聖書全体の意味するところを誤って理解する危険があることを指摘しておきます。

(聖句選、コメント：黒田徹之)

5月 第1例会

【 Report of the May Club Meeting】

(5月21日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル)

プリテン：松浦 孝次

○ 5月例会は、爽やかな薫風が吹く夕べ、ゲストに原 忠彦さん(鈴木謙介メンの紹介)を迎え、総勢17名が出席して開催した。

○ 山田孝彦メンが司会、谷川 寛メンが聖句を朗読、松浦会長が「LT」について解説を行った。

○ ゲストスピーカーの板野 一臣さん(大阪市立環境科学研究所・研究員)から「ダイオキシンから身を守る」とくに食品中のダイオキシンについて」を聞く。氏は、食品中の有機水銀、残留農薬、ダイオキシンなどの有害化学物質についての調査・研究に取り組んでこられた。

板野さんはOHPを使ってわかりやすく説明され、大きな環境問題のひとつである、食品中のダイオキシンについて理解をすることができた。わがメンバーも、身近な有害物質であるだけに身につまされる思いがしたようで、スピーチの後、質問が相次いだ。

スピーチの概要をご紹介します――

- ・ダイオキシンは、自然環境において安定で分解されにくく、脂溶性で生物に蓄積されやすい、毒性をもつ。
- ・高濃度被曝事件として、日本の「カネミ油症事件」(1968年)、台湾の「油症事件」(1978年：子供達に知能指数低下や身長長の低下等を惹起した) などがあつた。
- ・魚介類から摂取するダイオキシンは、食品からの摂取の80%を占める。魚介類に比し、食肉、野菜、穀物のダイオキシン含有濃度は低い。また、調理(水洗、煮沸、焼く、煮る等)によって、ダイオキシンを減らすことができる。

♂

The club's May meeting was held at the Toyo Hotel, with a total 16 Y's men, Y's menettes and a guest in attendance. The Leadership Training was emphasized for this month, so President KOJI MATSUURA outlined the purpose and objective of the program.

The club's monthly regular meeting is always a good occasion of learning and developing friendship among the club members. On that night we learnt about harmful chemical materials to our health, "dioxins" contained in our daily food from Dr. KAZUOMI ITANO, research worker of the Osaka Municipal Institute of the Environment Science.

The topic was so close to our daily life that the enthusiastic discussion followed until almost the end of the meeting.

Finally, Y's man KAN TANIKAWA, chairperson of our IBC committee, reported two interesting subjects; an article from the latest issue of "Y's Men's World", about the BF delegate program by Hillevi Andersson, International Travel Coordinator and the planned visit of the Hiranaka family which will be decided after uncertain factors are cleared. Yet it is encouraging for us to know that fund raising still is going on to help support young base ball team's visit to Hiroshima.



(板野 一臣さんの講話「ダイオキシンから身を守る」を聞く)

♂ ・20年前と比較すると、食事からの摂取は1/4に減っている。ダイオキシンを含まない農薬の使用や輸入食品の増大などによる。ダイオキシンの国内排出量も、ここ4年で77%も減少した。法規制の成果である。

・よって、そう神経質になることはない。ただし偏食をしないことは大事。また防衛機能をもたない胎児には影響がある。

○ 谷川 寛メンから、最近のY's Men's World誌の紹介があつた。記事の中に、「もっとBFファンドを利用して、BF代表として、他所の國のワイズを訪問、国際交流を楽しませべし」とのワイズ国際書記長秘書 アンダーソン夫人の話し紹介があつた。谷川メンは、若い頃BFファンド旅行を活用されたそうである。

2002/2003年度 クラブ運営の振り返り

クラブの運営を振り返って

(会長：松浦 孝次)

標語『心と思いを合わせ、共に生きる』を掲げて一年。一日としてクラブのことを考えない日はなかった。皆さんに支えられての会長職、顧みて成果は別として責任意識だけは旺盛だったかと思う。

忙しくてなかなか例会に出席できないメンバーの人たちにスピーチをお願いし、味わいある話を聴けたこと、中村前会長がリーダーシップを発揮されての「アメリカン子どもキャンプ」の開催によって本クラブが一皮むけたこと、例会テーマとして「YMCAをもっと知る」、「環境問題を学ぶ」などをとりあげることができたことなど、目標の一部は実現できた。

他方、3人の方がそれぞれやむをえない理由とはいえ退会されたのは、私の努力が足りなかったのではと悔やまれる。幸い永島 寧さんが入会していただいたのはうれしかった。

今後、谷川俊一・次期会長にバトンタッチして、私はメンバーの方々の志すところをよく察知し、クラブの方向づけと活動を後押ししていきたい。

1年間ありがとうございました。

各委員長から一運営を振り返って

◆地味専士 CS/TOF

(委員長：藤原 正巳)

年初計画した諸事項を、予定通り実施しました。

①「沖縄アメリカンスクール・プロジェクト」の支援

・「アメリカン子供サミット」の開催

02年8月22日から25日の4日間 沖縄・韓国のアメリックスクール生徒26人、奈良在住多国籍児童9人、スクール関係者11人、お母さんボランティア14人の参加を経て、大阪臨海センター、YMCA六甲研修センターにて開催。子供達の率直な交流が大きな感動を呼び、マスコミにも大きく報道された。

・100,000円を沖縄アメリカンスクールに寄贈した。

②「ミャンマーチャイルドケア・プロジェクト」の支援

・100,000円を大阪YMCAを通じマンダレー

♂ YMCAに寄贈した。

・2003年3月例会にて、大阪YMCA 田秀忠氏、マンダレーYMCA スエ・スエ・マー氏よりプロジェクトの実態について報告を聴いた。

③「関西のちの電話」の支援

・賛助会費など、合計65,000円を寄贈した。

・チャリティーコンサート、ハザーの開催を支援

④「年若選好シート」クラブ目標の達成

39,600円 (@1,800円×22人)

⑤「タイム・オブ・ファスト」クラブ目標の達成

35,200円 (@1,600円×22人)

⑥「ファアミリー・ファスト」募金の実施

14,396円

◆交流 IBC/DBC/YEEP/STEP

(委員長：谷川 寛)

1、方針

ブラザークラブとの交流は、過去一年間、比較的継続し行われてきました。香港は、私がほぼ定期的に訪問する関係上、ポヒニアクラブのメンバーとの接触があり、彼女らの活動状況は把握しています。ハワイ・ヌアヌ・クラブとは、メールを通じて接触がありました。

今年7月ヒラナカさん夫妻とお孫さんが、広島訪問の予定がありますが、最近の連絡では、アジアで今発生している新型肺炎 SARS を心配しており、実現するか目下未定です。

このブラザークラブとの交流を、もっと多くのメンバーの共有していただきたい方針でしたが、私の努力が足りませんでした。

2、計画

もっと世界のワイス、YMCAの動きを報告すべきところでしたが、必ずしも充分ではありませんでした。新年度は、新しい委員長の下で、さらに交流を進めていただきたいと思います。

◆Yサ・ユース Yサ・SF・YIA

(委員長：福永 嘉彦)

当初の計画のうち、主な行事として次の3件が実施されました。

(1) 第8回大阪YMCAチャリテイラン

(2) 第5回Y・Yフォーラム (次面ご参照)

(3) Yサ・ユース事業費

いずれも列年通り、各事業とも連綿しながら行われているものですが、今年度はさらに充実したものになったと考えます。とくに、チャリテイランは協力者も増え、所期の成果を収め得たものと思えます。また Y MCA との定期協議も以前になかったものの、引き続き相互理解による連携強化がすすんでいると推測されます。今後とも一層取組の強化が課題です。

◆ 広 報 (委員長: 貴多野 乃武次)

創立 20 周年なので、「特に対外広報に力を入れたい」と計画しながら、アメリカン子どもサミット開催前後は海外へ出ていましたので、対マスコミ広報をサボってしまいました。

何もできず、何もしない広報委員長でしたが、会長、藤原さんに助けられ、石津さんにはクラブのホームページを開設していただきました。ホームページのメンテナンスも石津さん頼みです。

この1年、石津さんははじめクラブの皆様にごら下がって来た広報委員長で、反省するばかりです。

◆ ファンド BF/EF/JWF (委員長: 栗山 佳三)

・この1年間、BF・切手集めにご協力いただきありがとうございました。大槻西日本区 BF 事業主任の報告によりますと、わがセンテニアルクラブは目標達成率 100%で、西日本区 85 クラブ中 23 位、ちなみになかのしまクラブは達成率 118.1%で 6 位という優秀な成績でした。

・クラブ内のベスト 5 は、山田兄 9150、栗山兄 8225、鈴木兄 7180、黒田兄 4100、中村隆兄 2175 (いずれも切手+現金ポイント) でした。来期も全員がご協力いただきますようよろしくお願いします。

・西日本区全体では、BF は前年同期比較で会員数が 81 人減ったためか 3,861 千円余と対前年 23 万円のマイナスとなりましたが、0 ポイントのクラブは前年の 19 クラブから 13 クラブに減っています。

・一方ファンドでは EF が前年並みの 215 千円、JWF は鈴木兄の 5 万円の献金を含めて前年微増の 278 千円余ということでした。

◆ E M C (委員長: 畠中 彬)

今年の目標の柱は、今までのように単に会員数

を増やすことだけでなく、ユニークで魅力ある活動を積極的にすすめるクラブを晋出化することであった。

① ユニークな活動として、昨年のアメリカン子どもサミットに続き、アメリカンの支援を継続的に行い、今年4月には沖縄アメリカンスクールの落成式にメンバー6人が参加するなど、今年もアメリカンの力こぼれたことで、目標は達成されたといえるだろう。

② 例会やデファレンスデイの内容に工夫をこらし、各回とも素晴らしいゲストスピーカーや講師の先生を迎え、内容のより充実したものとなり、メンバーの資質の向上にも役立った。しかし、個人的な事情により会員数が減少したことは残念なことであり、次年度への大きな課題となった。

◆ メネット会 (会長: 松浦 和子)

1. 関西いのちの電話への支援

「関西いのちの電話」の広報誌の封入・発送作業を奉仕しました。またバザー(11月)に参加し、物品販売を支援しました。

2. 「大阪青年」の発送

毎月末の一日、大阪YMCA会館で、「The YMCA」と「大阪青年」の封入・発送作業を奉仕しました。

3. アメリカン子どもキャンプへの参加

当クラブとYMCAが主催した、昨年8月のアメリカン子どもキャンプに、メネットとして参加しました。

4. 中西部の会合への参加

中西部新旧メネット引継会(7/27)、中西部チャリティーコンサート(10/6)、中西部新年会(1/11)、中西部合同メネット会(3/8)に参加しました。

5. YMCAとワイズ共催の行事への参加

土佐堀カーニバルに、(メネットだけで)ポップコーンの販売、(メンと共に)バザーを担当しました。またYMCAチャリテイランに、ランナーとして参加しました。

6. 当クラブメネット会の開催

(1) クラブ例会以外に、随時メネットが集まり、情報交換と懇親をはかりました(5回実施)。

(2) また、主にクラブ内での物品販売を行い、メネットファンドを創っています。 [以上]

お知らせ

1. ワイズメンズクラブ第6回西日本区大会

6月14日(土) 6月15日(日) 彦根市で開催されます。
詳細はプリテン5月号に記載しています。

2. ワイズメンズクラブ国際協会・第20回アジア大会

7月24日(木)～27日(日) フィリピンで開催。

3. YMCA 関係行事の日程です

- ・大阪YMCA チャリテイラン 11月9日(日)
- ・大阪YMCA 祈禱週 11月10日(月)～
- ・土佐堀YMCA カーニバル 11月3日(祝・月)
- ・土佐堀YMCA クリスマスのつどい 12月6日(土)

4. 第9回 土佐堀YMCA・環境教育セミナー

7月25日(金) 19:00～20:30 土佐堀YMCA会館

「安全な水・おいしい水」一水道水は安全か? など

講師: 藤田 正憲・大阪大学大学院工学研究科教授(環境工学)

お申し込み・お問い合わせ 土佐堀YMCA

Tel 06-6441-0895 Fax 06-6445-0297

E-mail tosabori@osakaymca.or.jp

アメリカン・スクール・イン・オキナワからの お便り

一本クラブからの新校舎落成式典の出席に対してー

さる4月12日、当クラブから6人が出席しお祝いしましたが(プリテン5月号に記事)、同アメリカン・スクール セイヤー・みどり代表から、お礼状が届きました。以下にご紹介します。

☆☆☆☆☆

先日は雨の中、式典にご出席くださりましてありがとうございました。おかげさまで、悪天候の中にも、200名ほどのお客様がおいでくださり、大盛況のうちに閉会しました。また立派なお花やお心遣いを頂戴いたしまして、心より感謝申し上げます。皆様の温かいお言葉とご協力を励みに、これからも子どもたちのために頑張っていきたいと存じます。

なお6月には、創立5周年記念式典を予定しております。今回天候のためできなかった記念植樹や、タイムカプセルを埋める等を実施したいと考えています。詳細は後日、ニュース・レターにてお知らせいたします。もしお時間がありましたら、また子どもたちに会いにご来校くださいませ。末筆ながら皆様方のご健康とますますのご発展をお祈り申し上げます。



(新校舎のエントランスで、セイヤーみどり代表と子どもたちを中心に、関係者・サポーターらが記念撮影)

YMCA ニュース

○ 近頃すっかり暑くなり、生ビールのおいしい季節となりましたが、まだまだ夏本番はこれからですよ。ビールの量だけは夏本番だったりして...

さて、現役員の方々、おつかれさまでした。新役員の方々には、これから1年間よろしくお願いたします。

★第122回大阪YMCA 早天祈禱会

日時: 6月20日(金) 午前7時30分～8時30分

場所: 大阪YMCA会館 10階チャペル

証し: 卜田啓三氏(大阪北YMCA運営委員長、
豊中ワイズメン)

問合せ: 大阪YMCA Tel 06(6441)0894

連絡職員: 浜野 昌保

★高齢者レクリエーションワークショップ

日時: 6月15日(日) 午前10時～午後5時

場所: 大阪YMCA会館

内容: 高齢者が生き生きと暮らすための方法や
各種レクリエーションの講義と実技を学びます。

問合せ: 大阪YMCA Tel 06(6441)0894

★普通救命講習会(大阪市消防局公認)

日時: 6月22日(日) 午後1時～午後4時

場所: みなとYMCA体育館

内容: 応急手当の目的・必要性を学ぶ
心肺蘇生法(気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ)

問合せ: みなとYMCA Tel 06(4395)1001



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

○初めて参加させていただきました。メンバーの方々も和気あいあいとされ、よい雰囲気の中で私たちにとってとても近い関心の有るダイオキシンの話を聞くことができ有意義な時を持つことができたことに感謝です！
(原 忠彦)

“ごぶさだ”メッセージ

- 学内会議のため出席できません。ご容赦ください。
(貴多野乃武次)
- 新しい職場で忙しくしております。21日は修学旅行で大阪におりません。皆様によろしくお伝えください。
(新保 正秋)
- わたしの里の父（茨城在住）が入院をして、ここ半月、何度か帰ったりしています。普段の予定が立てられなくなりました。今月の例会は、メン、メネットとも欠席させていただきます。
(中村 幸枝)

会員からのメッセージ

- 日常の食生活で魚介類は少し考えて食べないといけな
いのかなと考えさせられました。
(石津 雅人)
- ダイオキシンはごみ焼却の問題と考えていましたが、
魚介類の方が問題だとは驚きました。牛豚は体に良く
ないからさかなと思って食べてきたのですが・・・。
(栗山 佳三)
- 耳にしていたが詳しい知識がなかったダイオキシ
ンについて、学習できて、よかったです。今後どのよ
うに食事をとっていくのか大いに参考になりました。
(坂本 千春)
- 食べ物とダイオキシンとの関係のお話しを、恐る恐る
伺いましたが、好き嫌いをせずバランスのよい食事を
すればいいという結論でちょっと安心しました。
(隅田 恵子)
- ダイオキシンについての有益なお話し、ありがとうご
さいました。
(田中 穰二)
- 食品中のダイオキシンについて勉強する機会を与えら
れ参考になりました。
(谷川 寛)
- 新緑より深緑という時を迎えています。ダイオキシン
に心配りながら(良い学びをしました)、良い季節を楽し
く過ごしていきたいものです。
(谷川 俊一)
- ダイオキシンの知識を得て、これからは酒のさかなも
マグロやシシャモやキモは避けることにして、かまぼ
こやソーセージにします。
(富中 彬)
- ダイオキシンの毒性を痛感しましたが、家に帰れば昨
日と全く同じ生活をしているのでは・・・マグロはや
められませんね。
(浜野 昌保)
- 今日のダイオキシンのお話しを聞きながら人の作った
化学物質のこわさを知りました。自然を創造された方
に感謝をささげます。
(福永 滋子)
- 環境化学に、関心を深めていただいて感謝です。我々
に身近な有益なお話しは大いに勉強になりました。
(福永 嘉彦)

- 1カ月がずいぶん長く感じられた例会でしたが、やは
りワイズの例会はいいですね。今夜はダイオキシンを
中心とする環境問題の勉強ができ、学びと親睦の楽し
い夜でした。健康であればこそそのひとときで、病欠が
続いた身としては一層健康の大切さを痛感いたしました。
(藤原 正巳)
- 板野様のお話しはデータが豊富で、わかりやすく、大
変参考になりました。私たちの例会によくぞご出席く
ださいました。
(松浦 孝次)
- 多かれ少なかれ環境汚染の中で生活をしている者にと
っては、身を守る上にどこまで何に気をつけるべきか、
その一端に触れることができました。しかし、明日か
ら「何をどう食べればよいの？」というのが正直な気
分です。
(山田 孝彦)
- ダイオキシンが限りなくゼロになるようになってほし
いと思います。
(三浦 直之)

★ 新入会員のご紹介 ★

- ・永島 寧さん (Nagasima Yasusi) '39.18 生
- ・メネット 永島 悦子さん (Etuko) 9.3 生
〒630-8113 奈良市法蓮町 1089-1
(Tel&Fax : 0742-22-7145)
- 第一精工(株)勤務：京都市伏見区桃山町根来 12-4
(Tel : 075-611-7155)

※ 永島 寧さんの自己紹介です ※

以前勤めていた会社でおつきあいのあった松浦会長に、高校
まで過ごした郷里の奈良に定年で帰ってきて久しぶりに再会し
たよしみで、ワイズメンズクラブ加入をお誘いいただいたので、
入会をお願いします。先輩会員の諸兄によりしくご指導をお願
いします。

1. 趣味
・ 散策、山歩き、歴史的な名所探訪、内外の汽車・航空機に乗る
こと ・ 音楽を聴く、歌うこと ・ 読書
2. 信条
人間 至る所 青山あり



(5月第1例会で板野さんのスピーチに耳を傾ける)

《 編集後記 》

- 6月の第1例会が、デファレンスディとして、6月7日(土)午
後に開催となりますので、プリテン発行を早めました。そのため、
5月第2例会報告、BF報告などを7月号プリテンに譲ります。
ご了承ください。
- 今年度の振り返りを、会長、各委員長に寄稿してもらい
ました。
(松浦 孝次)